

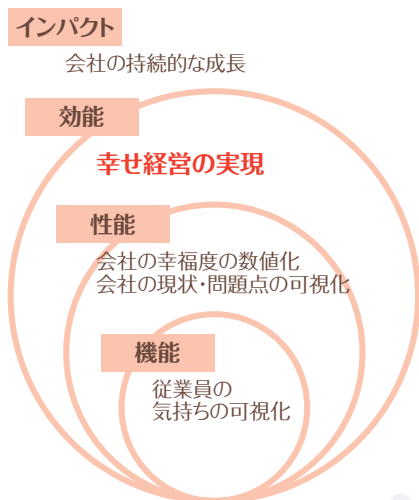
# HAPPY DESIGN SURVEY

## 幸せデザインサーベイ

この中には、従業員のみなさまの気持ちが詰まっています。  
それは、会社をより良くするための宝物です。  
一緒に幸せな会社を創りましょう。

## 幸せデザインサーベイとは

幸せデザインサーベイは、従業員のみなさまに、幸せに関する質問に回答していただき、会社全体の幸せを可視化したものです。  
これまではっきりと見えなかった課題を把握することで、幸せ経営を実現し、持続的な成長を目指しましょう。



### 個人の幸福度と組織のパフォーマンス

個人の主観的な幸福度が向上すると、生産性や創造性が向上するということが研究の中でわかっています。「幸福感の高い人は、そうでない人と比べて、創造性が3倍高く、生産性は31%、売上は37%も高い(イリノイ大学教授エド・ディーナー)」。

個人の幸福度の向上に取り組むことは、会社の成長にとってもメリットが大きいと考えられます。

- 従業員の状況(モチベーション、風通し等)が把握でき、生産性向上につながる。
- 幸せ指数の高い会社は売上の成長率が高い傾向にある(商工中金調査データ)。

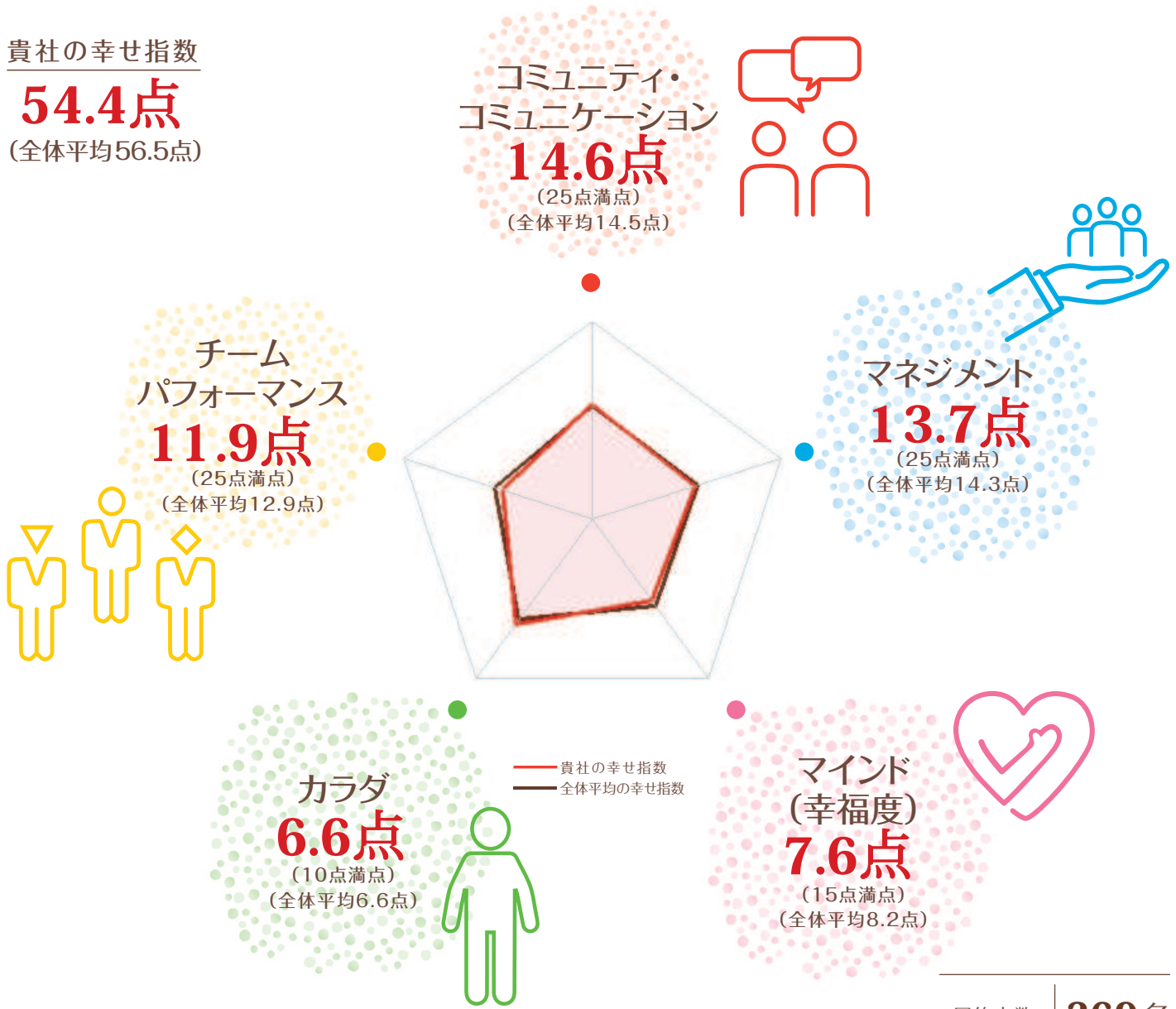
## 幸せペンタゴン

幸せペンタゴンは、貴社の幸せを5つの要素で表したものです。組織としての「コミュニティ・コミュニケーション」、「チームパフォーマンス」、「マネジメント」と、個々の従業員の「カラダ」、「マインド(幸福度)」の5つの要素から構成されており、総合点を幸せ指数として算定しています。

貴社の幸せ指数

# 54.4点

(全体平均56.5点)



回答人数 **269名**

## 全体フィードバック

幸せのペンタゴンは大きければもちろん良いですが、幸せの形は企業によって異なります。貴社にベストフィットする幸せペンタゴンの形を探しながら幸せ経営を実現し、持続的な成長を目指しましょう。

貴社の幸せ指数は54.4点で、全体平均の56.5点と同程度でした。

貴社で働くみなさまは、体調が悪い時は我慢せずに、周囲を頼ることができ、仕事を休める環境が構築できている傾向がうかがえます。また、定期的な健康診断（健康チェック）の必要性に関する意識が高い傾向がうかがえます。

留意点として、自己の成長をそれほど重視していない傾向が見られます。

従業員のスキルアップを目的とした教育機会を確保したり、これらの学びを活かすことができる職務内容や機会を提供することで、意欲的で主体的な行動を引き出すことができます。これにより、組織のパフォーマンスを高めることにつながり、貴社の幸せ指数を高めていくことができます。